【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年５月２日
【会社名】	株式会社アマナ
【英訳名】	amana inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　進藤　博信
【本店の所在の場所】	東京都品川区東品川二丁目２番43号
【電話番号】	03-3740-4011（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画担当　　築山　充
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東品川二丁目２番43号
【電話番号】	03-3740-4011（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画担当　　築山　充
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 貸倒引当金繰入額の計上

①当該事象の発生年月日

平成30年５月１日（取締役会決議日）

②当該事象の内容

当社の連結子会社等の財政状態等を勘案し、貸倒引当金繰入額を計上いたしました。

③当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、平成29年12月期の個別決算において、貸倒引当金繰入額185百万円を販売費及び一般管理費として計上いたしました。

なお、当該貸倒引当金繰入額は、連結決算において一部を除き消去されるため、連結損益への影響は軽微であります。

(2) 受取配当金の計上

①当該事象の発生年月日

平成30年５月１日（取締役会決議日）

②当該事象の内容

当社の連結子会社等からの配当により、受取配当金を計上いたしました。

③当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、平成29年12月期の個別決算において、受取配当金725百万円を営業外収益として計上いたしました。

なお、当該受取配当金は、連結決算において一部を除き消去されるため、連結損益への影響は軽微であります。

(3) 貸倒引当金繰入額の計上

①当該事象の発生年月日

平成30年５月１日（取締役会決議日）

②当該事象の内容

当社の連結子会社等の財政状態等を勘案し、貸倒引当金繰入額を計上いたしました。

③当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、平成29年12月期の個別決算において、貸倒引当金繰入額120百万円を営業外費用として計上いたしました。

なお、当該貸倒引当金繰入額は、連結決算において全額消去されるため、連結損益への影響はありません。

(4) 関係会社株式評価損の計上

①当該事象の発生年月日

平成30年５月１日（取締役会決議日）

②当該事象の内容

当社が保有する当社連結子会社及び持分法適用関連会社の株式のうち、実質価額が著しく下落したものについて、関係会社株式評価損を計上いたしました。

③当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、平成29年12月期の個別決算において、関係会社株式評価損59百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算において全額消去されるため、連結損益への影響はありません。

(5) 延滞税の計上

①当該事象の発生年月日

平成30年５月１日（取締役会決議日）

②当該事象の内容

当社の海外連結子会社における不適切会計に伴う延滞税を計上いたしました。

③当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、平成29年12月期の連結決算において、延滞税69百万円を特別損失として計上いたしました。

以　上